



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 最終処分場の今後について

今月は、今年3月末日をもって処理灰の搬入を取りやめることになった最終処分場(初倉)について、これまでの経緯をご説明いたします。

島田市が静岡県知事の支援要請を受け、東日本大震災で生じた岩手県山田町の災害廃棄物(木材チップ)を率先して受け入れたのは平成24年2月15日でした。この件で、最終処分場の一部地権者から訴えられていた「土地明渡等請求事件」の判決が下りたのは平成27年7月31日です(判決は市側の敗訴)。市は円満解決のため控訴をしないこととし、原告地権者の皆さまと協議することにしました。

市といたしましては、市民生活を第一に考え、少しでも長く最終処分場を継続使用できるよう、判決後も、誠心誠意、地権者の要望を聞きながら交渉に当たってまいりました。具体的には、処分場を掘り起こして、放射線量を再度測定しましたが、その数値は島田市内から出る一般家庭ごみと同程度でありました。地権者の要望に応じて、同処理灰を埋めた場所を特殊なシート(ゼオライトシート)で覆うこともしました。そうした調査・説明・工事など、さまざまな対応をした結果、多くの地権者の同意を得られたものの、判決どおりに土地の返



ゼオライトシートで処理灰を覆う工事を実施(H27.12)

還を求める地権者もいらっしゃいました。地権者全員の承諾がなければ、平成29年3月31日で切れる静岡県の許認可の更新(継続申請)ができないことから、県へ届け出ている同処分場の廃棄物埋立終了期限である同日をもって、搬入を断念することとしました。



島田市最終処分場(H28.10)

新しい最終処分場建設については、平成26年度から調査を開始しましたが、現在のところ適地は見当たらず、当面の間は、外部委託を行うのが妥当であるという結論に至りました。外部委託は、現状では、自前で最終処分場を建設する費用に比べ低コストです。周辺の藤枝・焼津・牧之原市、吉田町も外部委託を実施しています。長期的には、自前で持つ有用性もあることから、引き続き並行して新最終処分場の候補地について調査・研究してまいります。

結びに、昭和50年代からこの土地を使用させていただいた地権者の皆さま、そして、地元の皆さまに心より感謝申し上げます、報告とさせていただきます。

新春恒例

プレゼントクイズ

㊟広報課 ☎ 36・7118

▼正解者の中から抽選で10人に、「島田のお祭り記念切手シート」をプレゼントします。

【問題】

昨年新たに5品目1シリーズが追加された、島田の魅力をPRする商品は?

【答え(漢字2文字)】

島田の〇〇

応募方法/①クイズの答え②郵便番号・住所③氏名④年齢⑤職業(学年)⑥電話番号⑦昨年1年間の広報しまだの中で印象深かった記事⑧今後、広報しまだで読んでみたい記事を記入の上、ハガキで広報課へ送付先/〒427-8651

島田市役所広報課(住所不要)

「新春恒例プレゼントクイズ」

締め切り/2月10日(金)消印有効

当選発表/プレゼントの発送を

もってかえさせていただきます。

※応募は、1人1通までとします

(複数応募は2通目以降無効)。

※個人情報、目的外利用をしたり、第三者に開示・提供したりする事はありません。